

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和7年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	淵野辺公園アイススケート場、水泳プール及びトレーニング室（銀河アリーナ）
指定管理者名	銀河アリーナ運営共同事業体 【構成団体】 公益財団法人相模原市まち・みどり公社、美津濃株式会社、株式会社パティネレジャー
指定期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで（3年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	学校教育を含む市民利用と競技スポーツの振興を図るため
施設概要	所在地：相模原市中央区弥栄3-1-6（淵野辺公園内） 開設：平成3年1月20日 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上4階地下1階 1階 事務室（面積94㎡）、第1会議室（面積94㎡）、医務室、貸靴コーナー、売店、レストラン（面積119㎡：休止中）、ロッカー室、更衣室、シャワー室、機械室、監視室、トレーニング室 2階 メインリンク（60m×30m）、サブリンク（18m×14m）、採暖室、放送監視室、軽食コーナー、救護室、休憩コーナー（控室）、氷面削整機車庫、更衣室、シャワー室 3階 観覧席（1,242席）、第2会議室（81㎡） 4階 TVカメラスペース、電光表示盤スペース、ファン室
施設所管課	市民局スポーツ施設課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
利用者数合計（人）	158,389	151,659	162,916	222,272			
利用料金合計（円）	81,017,246	83,615,319	94,714,172	94,183,841			

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	成果指標の達成度について、下記3つの指標の平均値が「99.9%」となることから「B評価」となった。 例年、条例で定める供用期間以上に供用期間を設けていたが、猛暑の影響により令和7年度は条例の供用期間にて運営した（前年度比44日短縮）。その上で、一般利用人数が約7,000人増加し昨年度を上回った点は評価できる。引き続き事業の活発化と、より一層の集客に期待したい。

指標1							
指標名（単位）	アイススケート場一般利用人数（人）						
指標式と指標の説明	【指標の説明】 アイススケート場における年間の一般利用人数 【指標式】 達成度＝実績人数÷目標人数×100						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（人）	106,100	108,200	82,000	78,500	79,550		
実績値（人）	83,069	75,927	70,822	77,384			
達成度（%）	78.3%	70.2%	86.4%	98.6%	0.0%		

指標2							
指標名（単位）	トレーニング室利用人数（人）						
指標式と指標の説明	【指標の説明】 トレーニング室における年間の利用人数 【指標式】 達成度＝実績人数÷目標人数×100						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（人）	73,800	84,900	25,000	26,500	28,000		
実績値（人）	21,243	24,722	26,238	28,803			
達成度（％）	28.8%	29.1%	105.0%	108.7%	0.0%		

指標3							
指標名（単位）	アイススケート場特別専用利用件数（件）						
指標式と指標の説明	【指標の説明】 アイススケート場における年間の特別専用利用件数（早朝及び夜の時間帯） 【指標式】 達成度＝実績件数÷目標件数×100						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（件）	1,060	1,080	1,080	856	872		
実績値（件）	1,105	1,072	1,066	790			
達成度（％）	104.2%	99.3%	98.7%	92.3%	0.0%		

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	達成度が「131%」となることから「S評価」となった。 令和7年度は、施設の認知度向上と利用者への感謝を軸に、新規事業の実施や地域連携を積極的に推進している点が評価できる。特にアニメとのコラボや記念演奏会など、利用者や地域に喜ばれる企画を展開し、施設の魅力発信に努めている。今後も利用者目線を大切に、事業内容の充実と利用促進に一層の期待を寄せたい。

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
利用促進事業	4～5月、11～3月	子どもの日、七五三、クリスマス、開設35周年記念、バレンタインデー、ホワイトデーなどのイベント事に合わせ、抽選等でオリジナルピンバッジやお菓子のプレゼントを行った。 くじ引きでの抽選は、当たりはずれを楽しみに参加していただけるお客様も多く、盛り上がっていた。 35周年記念ではスケート入場者全員に特別なデザインのピンバッジをプレゼントし、同時開催の演奏会も相まって、大いに盛り上がった。 令和6年度から実施頻度と内容を拡充し、利用促進として大いに効果があったものと感じている。	◎

アニメ「メダリスト」 キャラクターパネル展示	10～3月	フィギュアスケートを題材とした漫画原作のアニメとなっており、当施設との親和性が高いことから、パネル展示によって作品と施設のPRが十分に図られた。 アニメ関連企業様の厚意にも恵まれ、パネル設置に関する投稿については、アニメ公式アカウントのリポストにより約17万回を超えるアクセスがあるなど、施設を知っていただくための有効なきっかけとなった。 観覧者数については、展示エリアにセンサーカウンターを設置したことで、実績として正確な数を報告できた。	◎
銀河アリーナ35周年記念演奏会	1月	利用促進事業として、施設外観をデザインしたピンバッジをスケート入場者全員にプレゼントすることに合わせて、記念の催しを行った。近隣の県立相模原弥栄高等学校の吹奏楽部の協力のもと、観覧席にてお祝いの記念演奏会を行い、当日施設に訪れた方々からも大変好評いただき、学校側とも良好な関係を築くことが出来た。 なお、演奏時間帯に入場していたスケート場利用者数は、400人程度いた様子。	◎
スケート感謝デー	10月	スケート場が10月20日にオープンした後、最初の土曜日を活用して無料開放を行った。天候の悪化により、当初の想定よりも少ない利用となったが、基礎スケートを学べるコーナーを設けるなど、初心者にも優しい受け入れ態勢を整えたことや、ここからスケートシーズンが始まるということを広く周知する機会にできたと感じている。	○
早朝スケート	4～5月、10～3月	7時～9時において、参加者数としては当施設最大規模のスケート教室になっており、早い時期からの広報やSNS発信により、これまでご参加いただいたことのある方から、はじめての方まで幅広くご参加いただけた。 教室の認知度が年々向上しており、令和7年度については参加者が300人を超える日が多くなるなど、初めて参加する人も毎週の習慣になった人も増えてきている。	◎
スケートワンポイントレッスン	4～5月、10～3月	日曜・祝日・大型連休中などに、指導員（相模原市スケート協会）がリンク内を巡回しながらワンポイントのアドバイスを行うものとなっており、スケート場を初めて利用する人や、不慣れな方が安心して利用できるということで好評いただけた。	◎
Good Health Festival	6、11月	一日を通しての健康教室イベント（ヨガ、フラダンスなど）を開催することで、お客さまの健康増進に寄与するだけでなく、日頃体験できないエクササイズを楽しむ機会を提供した。一日を通じた教室実施は珍しいため、楽しんでいただけた。	○
ショートタイム講習会	通年	トレーニング室利用者を対象に毎日テーマを決めて30分程度体操指導を行いました。スタッフ教育の他、ここ数年、高齢者健康増進事業を実施してきた効果もあってか、近隣の高齢者の参加も増えてきており、参加者数の増加につながっている。	◎
ラジオ体操	11～3月	トレーニング室オープン後の朝一番で実施し、高齢者を中心に運動前の準備として参加していただけた。淵野辺公園においても早朝からラジオ体操をされている方は多いが、トレーニング室の利用の機会創出にもつながったと考えている。	◎

美術作品の展示	2月	市教育委員会との共催事業として、近隣の中学校の作品展を開催することが出来た。 感想ノートなども設置したことで、観覧した人からの暖かい言葉を学生に届けることができたため、引き続き次年度も取り組んでいきたい。	◎
お手軽にクラフトコーナー	8～3月	淵野辺公園の来園者に対して銀河アリーナを訪れる機会を提供し、地域コミュニケーションの活性化などを図ることができた。 認知度が少しずつ増してきており、キーホルダー作りなども人気があり、親子がスケートに来たついでに作って帰るなど、楽しんでいただける機会に繋がった。	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	目標値に対する達成度が「107.9%」となることから「A評価」となった。 廃止予定の施設という制約の中でも、利用環境の改善に向けた前向きな姿勢が見られる点で評価できる。残りの供用期間においても引き続き、利用者が気持ちよく施設を利用できるような管理に期待したい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	アンケート用紙、WEBアンケート。施設利用者317人から回収。
目標値の基準	総合的な満足度について、「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値（%）	92.0	92.0	90.0	90.0	90.0		
実績値（%）	93.1	92.8	95.9	97.1			
達成度（%）	101.2%	100.9%	106.6%	107.9%	0.0%		

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
お客様ご意見箱の設置	常時	管理事務所において「お客様ご意見箱」を設置
ホームページの活用	常時	ホームページにおいて「お問い合わせフォーム」を設置

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	本体事業収支および全体収支が黒字であるが、団体の財務状況に若干の懸念があることから、A評価となった。 代表団体である公社の経営状況は数年連続で収支赤字であり、この原因が公益事業の赤字が大きいためである。正味財産は潤沢であるが、毎年減少しており経営状況に懸念がある。財政状況に関しては問題となるような資産や負債は見当たらなかった。 また構成団体2社は経営状況、財政状況ともに問題となるような点はなかった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入（a）		279,721	304,796	307,710	
指定管理料		166,501	189,464	189,464	
利用料金収入		78,887	94,714	94,184	
その他の収入		34,333	20,618	24,062	
支出（b）		314,135	318,536	300,744	
人件費		105,571	96,800	91,225	
本社管理経費		11,228	3,025	5,862	
その他の支出		197,336	218,711	203,657	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-34,414	-13,740	6,966	
自主事業収入（d）		12,021	11,270	12,608	
自主事業支出（e）		7,844	7,386	9,055	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		4,177	3,884	3,553	
全体収支【(c)+(f)】		-30,237	-9,856	10,519	
備考	冬季五輪に合わせたSNS投稿、SNSを活用した情報発信、アニメ作品との連携、周辺自治体の施設・店舗等と相互PRなどを積極的に行い、集客を図った。暑い時期のスケート供用期間を見直し、節電を含むコスト削減等を図ったことも功を奏し、大幅な収支改善となった。				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。				

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和8年1月23日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目		取組状況
機種依存文字を使っていない。		○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。		○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。		○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。		○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。		○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。		○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。		○
その他取り組んでいること	X、Instagram、Facebook、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」、ポータルサイト「JIMOTTO」、TV・新聞・雑誌等の各メディアへの記事掲載や取材協力などで施設の情報発信	

9 指定管理者の自己評価

令和7年度については、施設をより多くの方々に知っていただくことをテーマとして掲げ、施設PRや人気アニメ作品のキャラクターパネル展示により、新たな利用者の確保に努めたことで、当初想定していなかった利用者層の獲得に成功したと感じている。利用促進事業では、令和6年度よりもオリジナルグッズの種類を増やし、35周年記念のグッズを考案するなど、日頃、施設利用をしていただいている利用者だけでなく、新規の利用者にも来館していただけるきっかけ作りに努めた。

また、市内だけでなく、市外の施設や店舗とも連携を図り、相互にPRを行う取り組みも確立し、施設を知っていただくきっかけを十分に作ることが出来たため、令和8年度についてもこれらの取組を強化し、たくさんの方々に利用していただけるよう創意工夫を図っていければと考えている。

一方で、スケート利用以外にも、トレーニング室における日々の講習会等に力を入れ、単にトレーニングをしに来るということではなく、他の楽しみも見つけていただけるような取組を行った結果、年々利用者が増加している。今後も現状に甘んじることなく、指定管理者としてできることを強化しながら、よりよい運営に繋げていきたい。

10 所管課意見

令和7年度の事業展開において、施設の認知度向上を目的としたキャラクターパネル展示やオリジナルグッズの拡充、市外施設との連携など、多角的なPR活動を積極的に展開された点は高く評価する。これにより新たな利用者層の獲得に成功し、目標値には届かなかったが一般利用者数も昨年度に比べ増加し、施設の魅力向上に繋がっていると認められる。また、トレーニング室での講習会など、多様な利用者ニーズに応える取り組みも利用者増加に寄与しており、持続可能な運営の基盤形成に努めている点も評価に値する。

令和8年度末に施設が廃止となるが、施設の老朽化が進む中にあっても様々な工夫を重ねて管理運営にあたっただけに深い感謝の意を表したい。引き続き安全・安心な環境維持にご配慮いただくとともに、一般利用者の拡大に資する事業展開についても、短期間ながら有効な工夫を継続的に検討し、多様な層へのアプローチ強化が図られることを期待したい。

11 選考委員会意見

キャラクターパネルの設置や近隣高校との連携など、多数の新規事業を実施し利用者数が増加していることは高く評価できる。こうした成果を踏まえつつ、残りの運用期間についてもこれまで通り安全確保を行い、楽しいひと時を過ごせるよう管理運営を行って頂きたい。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

